



新年を迎えて



一般財団法人日本ITU協会
理事長

みなみ としゆき
南 俊行

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年12月に理事長に就任しました。前福岡徹理事長と同様、よろしくお願ひいたします。

令和として初めて迎える新年です。今年の春には、待望の次世代通信規格5Gの商用サービスが国内で開始され、高速・大容量、低遅延、多接続通信による新しい時代の幕開けとなります。Society 5.0 (超スマート社会) に向けての大きな飛躍が期待されます。

また、夏には東京2020オリンピック・パラリンピックが開催され、世界中から広く注目されるでしょう。日本の技術、文化などをアピールしつつ、世界中からの訪問者をおもてなしできる機会になればと考えます。

このような大きな技術革新や社会的なイベントが行われる中、当協会も世の中の動向に沿うべく業務に取り組んでまいります。

昨年を振り返ってみますと、10~11月にエジプトで周波数分配、周波数の使用に関する国際的な手続、無線設備の技術基準、無線局の運用方法などを規定する無線通信規則 (RR) の改正を行う世界無線通信会議 (WRC-19) が

開催されました。当協会では東京で行われた同会議のAPT内準備会合 (APGI9-5) の運営支援及び現地での本会議の日本事務局運営支援に携わることができました。

9月にはハンガリーでITU世界テレコム2019が開催されました。日本から5社がパビリオンに出展し、6社がパネルランチに参加しました。各社からは技術・サービスの紹介を通して、各国高官や他国企業とのコネクションを構築できたとの声をいただいております。

5月17日には「第51回世界情報社会・電気通信記念日のつどい」を開催しました。式典では、ITU-Rにおける国際標準化活動で、長年にわたり活躍された伊藤泰彦氏 (元KDDI) が総務大臣賞を受賞され、また、パソコンやプログラミング等ICT技術の習得に努め、シニア層への展開に取り組まれてきた若宮正子氏が日本ITU協会賞特別賞を受賞されました。併せて、14名が日本ITU協会功績賞を、22組の皆様が奨励賞を受賞されました。誠に喜ばしい限りです。

さらに、アジア地域の開発途上国の通信関係者に対する研修 (JICA研修、APT研修) 及び国際交渉能力向上のために体験講習を導入したパフォーマンスセミナーも好評裏に実施いたしました。

今年には11月に、次研究会期の研究課題の承認、各SGの議長・副議長の任命、勧告の承認等を行う世界電気通信標準化総会 (WTSA-20) がインドで開催されます。また、ITU世界テレコム2020はベトナムで開催されます。上記のイベントなど全体の予定を見据えた上で、また、皆様のご要望を聞きながら円滑に業務を進めたく考えております。

本年も、日本政府、賛助会員の皆様とITUとの橋渡しができるよう各種の活動を鋭意実施してまいります。

皆様のご健勝とご活躍を心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



WRC-19 クロージング プレナリー